

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	松山市畑寺児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの成長や変化に合わせて、視覚支援や活動プログラムを柔軟に変更し、一人ひとりに合わせた丁寧な支援を行っている。	・職員間での情報共有や細かな行動観察を行い、子どもの様子や変化を細かく把握している。	・発達検査の結果や職員からの様々な意見を活かして、支援の充実を図る。
2	・毎回、保護者と支援者が子どもの活動の様子を共有した上で、子育ての悩みや家庭での対応等について一緒に考え、保護者支援を多面的に行っている。	・職員間で打ち合わせを行う等して、保護者との面談の時間と落ち着いて話せる環境を設定している。	・子どもの発達状況やかかわり方について、より具体的で分かりやすい助言が行えるように、研修やケース検討会を通して資質向上に取り組む。
3	・発達支援に関する研修に加えて、子どもの支援や対人援助に活かせる幅広い分野の研修を計画的に実施している。	・職員に「学びたいこと」「困っていること」について自由記述でアンケートを実施し、その結果を基に研修計画を立てている。 ・関係機関との繋がりを活かして、研修のテーマや講師について情報収集をしている。	・研修の振り返りや伝達講習を確実に実行することで、さらに学びを深め、業務に活かす。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対する就学等の勉強会での情報提供や個別相談は行っているが、保護者同士が直接的に交流できる機会が少ないことから、保護者ニーズに沿ってそのような場を設ける必要性を感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士のつながりや情報共有の機会を持つことは、不安の軽減につながり、子育てをする上で視野が広がること等から、家族支援の大切さについて再認識した。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達支援のためにも保護者同士が交流する機会を設けることが、家族支援にとって有効な手段になるよう、保護者のニーズを改めて把握し、ニーズに合わせて企画、運営を行っていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 就学先への移行の際に、事業所と小学校及び特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解が十分に図られていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対しては、就学に向けた情報提供や相談援助を丁寧に行っているが、移行先(小学校)との連携については、そのスキルや経験を有する職員が少ないのが現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> 就学時の移行支援に関して、研修や実践を通して必要な知識やスキルを習得し、子どもや保護者のニーズに合わせて小学校との情報共有を行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 利用者全員に対して、非常時の対応や安全計画の周知が十分に行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用日数や療育時間の関係もあり、利用者全員への説明の機会が不十分である。また、計画は掲示のみであり、配布は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 非常時の対応や安全計画の更なる周知を図るために、伝達内容や伝達方法の見直しを検討し、アプリを活用する等、利用者に分かりやすく情報発信ができるよう工夫する。